

社会保障庁(SSA)への照合書

SSA 地方事務局スタッフ用：EV-STAR を使い、POMS RM 10245.005 を参照すること。

被雇用者の姓	被雇用者の名
被雇用者の社会保障番号(SSN)	被雇用者の生まれた月 / 年
SSA 照合の日付	事例確認番号
この照合書が送られた理由：	<input type="checkbox"/> SSN (社会保障番号) が一致しません。 : この被雇用者の氏名または生年月日が社会保障庁の持つ情報と一致しません。 <input type="checkbox"/> SSN が無効です。 : E-Verifyに入力された社会保障番号が社会保障庁の持つ情報によると無効です。 <input type="checkbox"/> SSA ではこの被雇用者の市民権を確認できません。 : 入力されたこの被雇用者の市民権情報が社会保障庁の持つ情報と一致しません。 <input type="checkbox"/> SSN が他の理由により確認できません。 : 社会保障庁は、この被雇用者の情報に不一致を見つけました。 <input type="checkbox"/> SSA ではこのデータを処理できません。 : 社会保障庁は、この被雇用者の情報に不一致を見つけました。

雇用主への指示

重要事項

被雇用者は下に署名し、日付を記入しなければなりません。

- できるだけすぐに、被雇用者と二人で (他者を交えず)、この照合書を見直してください。
- この照合書の上部にある氏名、社会保障番号、生まれた月 / 年 が正しいことを確認してください。もしこれらの情報に誤りがある場合は、E-Verifyのこの事例を閉じ、正しい情報をもって新しい事例を作成してください。
重量事項: 被雇用者が文字を読むことができない場合は、雇用主は被雇用者にこの照合書を読み聞かせなければなりません。被雇用者が英語をよく理解できず、スペイン語、中国語、ハイチ・クレオール語、日本語、韓国語、ロシア語、タガログ語あるいはベトナム語を話す場合は、これらの言語での照合書を与えなければなりません。これらの言語での照合書は「必要資料を見る」で得られます。
- あなたと被雇用者は、この照合書の下方の署名欄に署名し、日付を記入しなければなりません。
- 被雇用者に、この署名された英語の照合書のコピーを渡し、被雇用者の用紙 I-9 にコピーを添付してください。被雇用者に、SSA 地方事務局に出向く際、この照合書を持っていかなければならないことを伝えてください。

下記の空欄全てに記入してください。

雇用主の氏名	
雇用主代表者の氏名	雇用主代表者の電話番号

雇用主代表者の署名	日付
被雇用者の署名	日付

被雇用者への指示

あなたにこの社会保障庁(SSA)への照合書が送られた理由

あなたの雇用主は、E-Verifyという、国土安全保障省 (DHS)および社会保障庁 (SSA)が管理するプログラムを利用しています。E-Verifyとは、書式I-9 (就労資格証明書) であなたが記入した個人情報と政府の持つ記録を対照させ、米国であなたが就労資格を持っていることを確認するものです。

あなたがこの照合書を受け取ったのは、E-Verifyが、あなたのI-9に記入された情報と、SSAの持つあなたの情報が一致しなかったことを示したからです。あなたは「SSA被雇用者一時的不確認の通知」を受け取り、それに異議を申し立てることを選択しました。これは、あなたが雇用主に間違った情報を提供したり、あなたが米国で就労資格を持たないことを意味するものではありません。

SSA一時的不確認は次のような理由で生じます：

- あなたが社会保障番号を取得してから、あなたの市民権や移民状況に変化があった場合。
- あなたがSSAに名前の変更を届け出なかった場合。
- あなたの氏名、社会保障番号、または生年月日がSSAに間違って記録されている場合。
- SSAの持つあなたの情報と、他の不一致がある場合。
- あなたの雇用主がE-Verifyにあなたの個人情報を正しく入力しなかった場合。

あなたがしなければならないこと

1. この照合書の1ページ目にある、あなたの氏名、社会保障番号、生まれた月/年が正しいことを確認してください。誤った情報がある場合にはすぐに雇用主に知らせてください。
2. あなたはこの照合書の送られた日から**連邦政府就業日の8日以内**、 / / (月2桁/日2桁/年4桁)までに、この事例を解決するためにSSA地方事務局に行かなければなりません。

SSA地方事務局を探すには、SSAのウェブサイト、www.socialsecurity.gov/locatorで検索するか、SSAの番号、800-772-1213 (聴覚障害者専用TTY: 800-325-0778) に電話してください。もしあなたがソーシャル・セキュリティ・カードセンターの近くのエリアにお住まいの場合は、カードセンターに行くよう指示される場合があります。

あなたの雇用主は、あなたがTNCに異議を申し立てると決めたことを理由に、あるいはあなたの事例がSSAで未解決であることを理由に、あなたに対して不当措置を取ることはできません。**不当措置に含まれるもの**：解雇、雇用の一時停止、給料支払いやトレーニングの差し止め、雇用開始期日の延期などの、雇用に制限するような措置。

3. **SSA地方事務局に向く際、この照合書を持って行ってください。**
4. SSA地方事務局に、あれば以下の書類の**原本**をもって行ってください。SSAは以下の書類を確認せねばなりません：
 - a. **年齢の証明**；例えば出生証明書やパスポートなど。
 - b. **身元の証明**；例えば米国の州政府発行による運転免許書など。
 - c. **法的な氏名変更の証明**；例えば社会保障番号を受理してから氏名が変更になった場合には、結婚証明書など。
 - d. **就労資格の証明**；
 - あなたが米国市民である場合には：**米国市民権の証明**、例えば帰化証明書、米国公式出生証明書、米国パスポートなど、または
 - あなたが米国市民ではない場合には：**就労を認可されている合法外国人地位を証明するもの**、例えば、永住権カード(書式I-551、いわゆる「グリーンカード」)、就労認可書類(書式I-766)、あるいは就労資格を示す書式I-94到着記録など。
5. **この照合書は重要書類です**—記録のため、コピーを保管してください。
6. あなたがSSA事務局に向いた結果として、あなたの個人情報が変更となった場合は、すぐにあなたの雇用主にそのことを伝え、雇用主の持つあなたの情報を変更してください。

その他のインフォメーション

SSAに連絡を取るには、800-772-1213 (聴覚障害者専用TTY: 800-325-0778) に電話するか、SSAのウェブサイト www.socialsecurity.gov を参照ください。近くのSSA事務局を探すには、www.socialsecurity.gov/locator で検索してください。

E-Verify のプライバシー保護やプログラム規則などの他のインフォメーションをお探しの場合は、E-Verifyウェブサイト www.dhs.gov/E-Verify を参照ください。

違反は報告してください

もしあなたの雇用主がE-Verifyの規則に違反をしたり、あるいはあなたに対して差別的または不当な取り扱いをしたと感じたら、その旨を報告することをお勧めします。被雇用者の不当扱い、プライバシー侵害、または一般的なE-Verifyに関する苦情などがありましたら、E-Verify被雇用者ホットライン888-897-7781 (聴覚障害者専用TTY: 877-875-6028)、またはEメール E-Verify@dhs.gov までご連絡ください。

あなたの市民権、移民上の身分、出身国にもとづく雇用差別、あるいはその他のE-Verifyの乱用を報告するには、司法省公民権課移民関連不当雇用慣行特別室800-255-7688 (TTY: 800-237-2515) に連絡してください。詳細については、特別検査官室のウェブサイト www.justice.gov/crt/osc を参照してください。